



ビ

#

ッ

ニ

チ

の

な

ヌ

ア

エ

タ

だ

シ

け

ムカツク——ツツ!!!

今日は一段と
機嫌悪いね

だってアイツら
私のことビッチ
とか
ヤリマンだとか
デマ流すんだか
よおおお!!

近い!!

たぶんみんな
天城さんの外側しか
みてないんだよ

天城さんが
本当は優しくて
思いやりのある可愛い子
だってこと!!
ボクは知ってるよ

イテテ!
何で叩くの!?!
ほめたのにっ!!



進一と出会ったのは
1ヶ月ほど前
昼休みに進一が
中庭でスケッチして
いたところを
私が話しかけた



あーあ
なんだか喉かわいた！
ジュース買ってくるわ！



私はそれが
嬉しくて毎日
中庭に来てしまう

進一は私のことを
他のやつらみたい
に変な目で見た
りしない



まったく進一が
変なこと言うから
汗かいちゃった

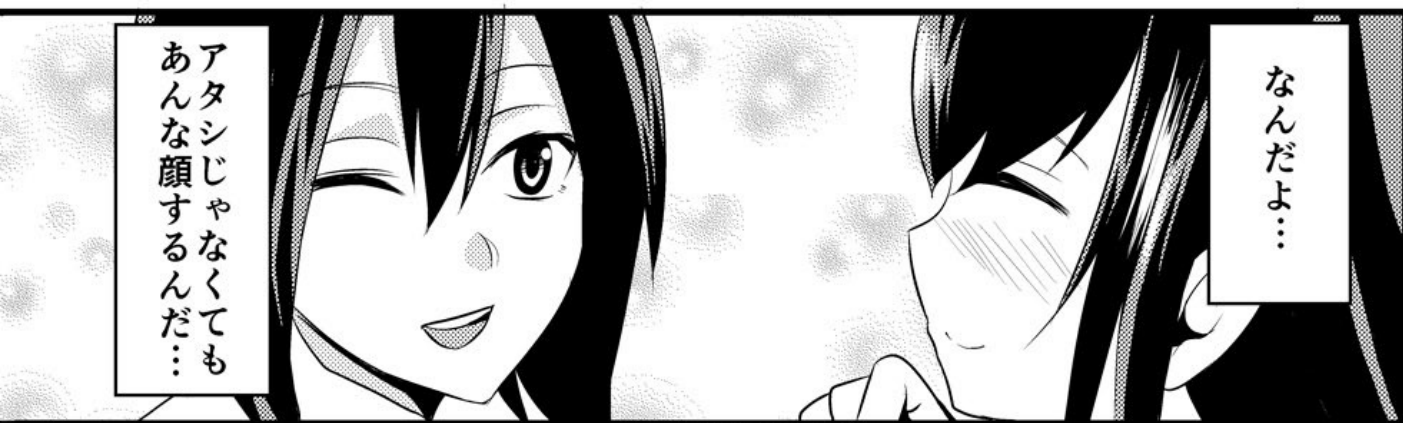




誰…
あの子



えっ…



アタシじゃなくても
あんな顔するんだ…

なんだよ…



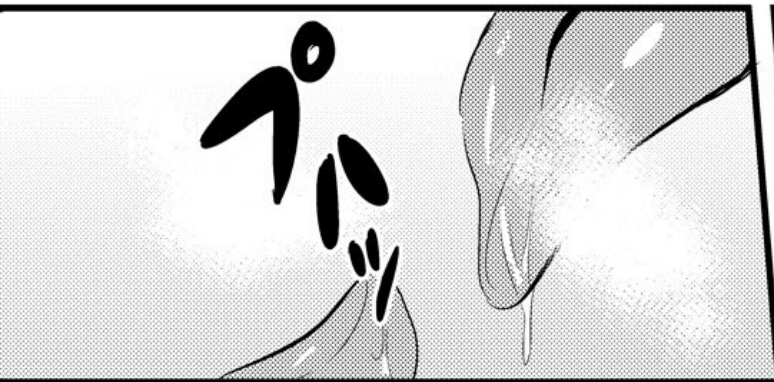
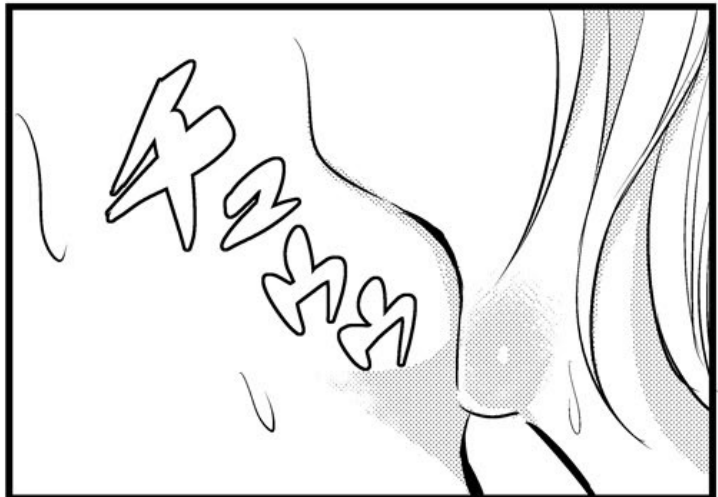
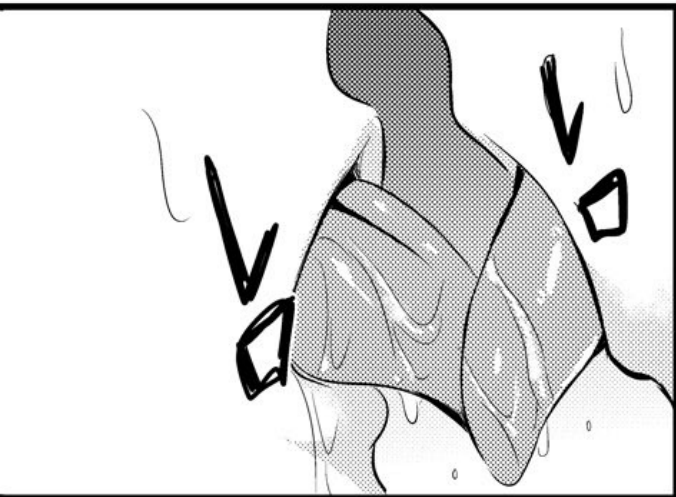
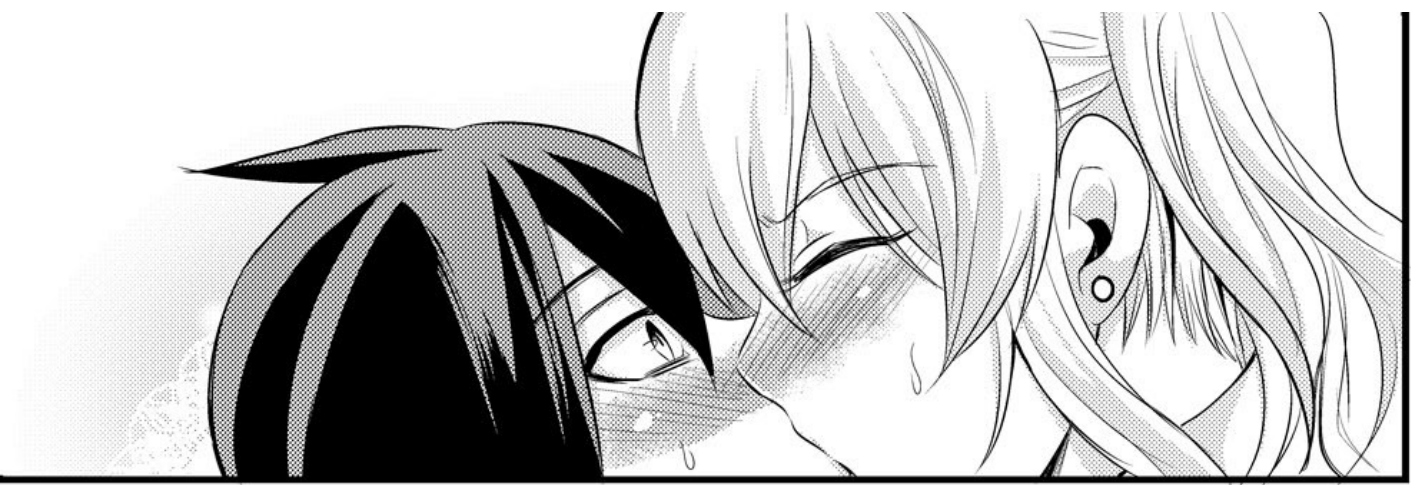
おかえり



何…この気持ち…
今までこんな事なかった

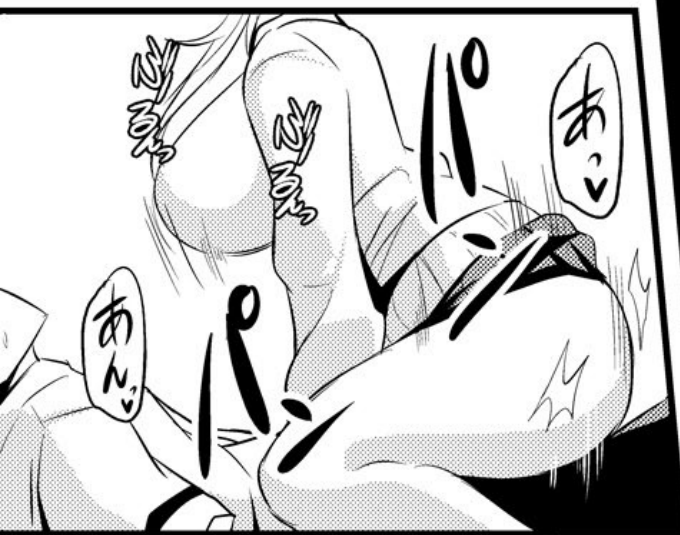
ドキ

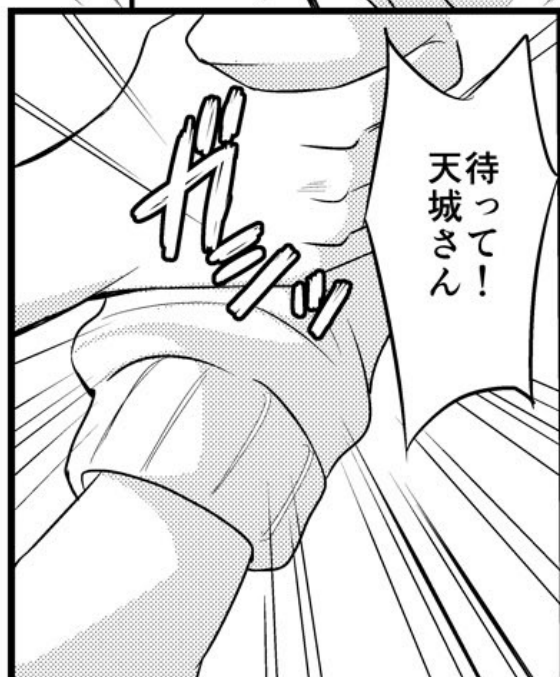


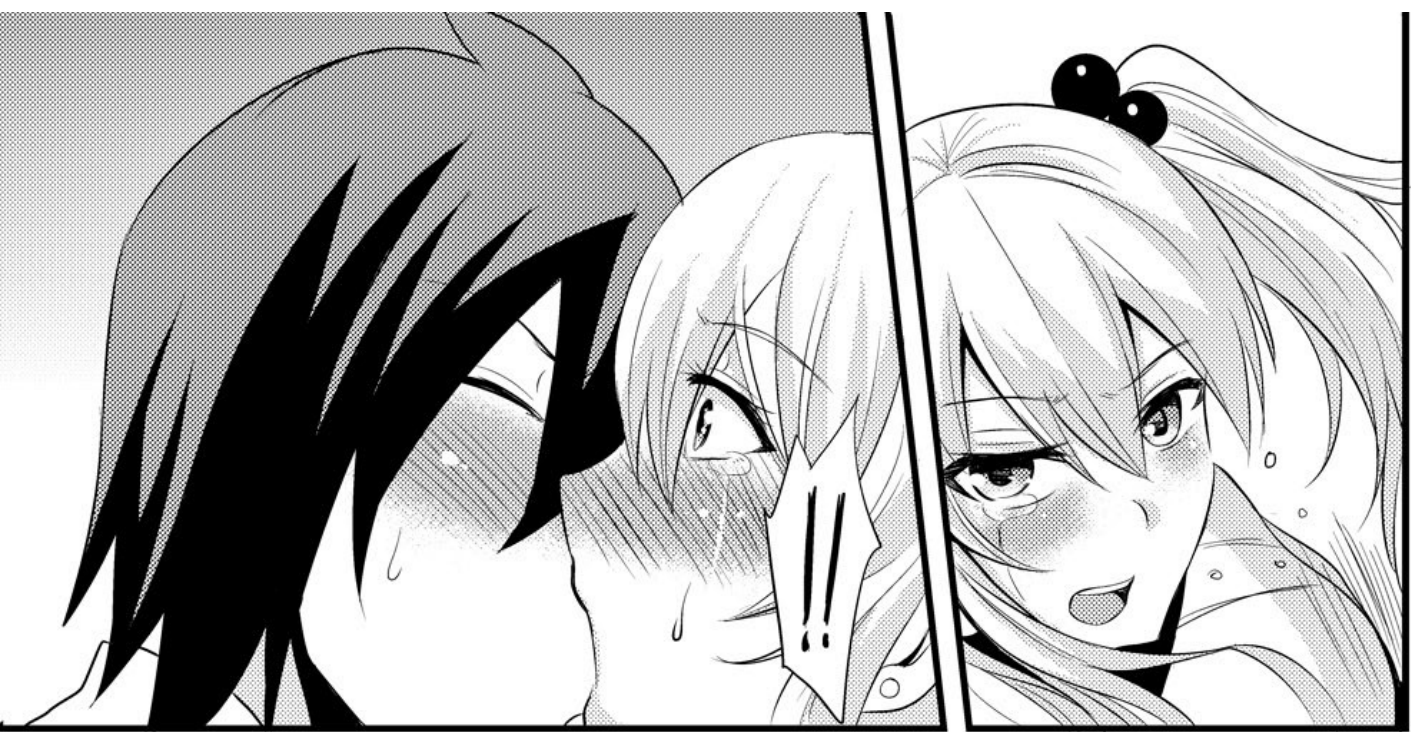


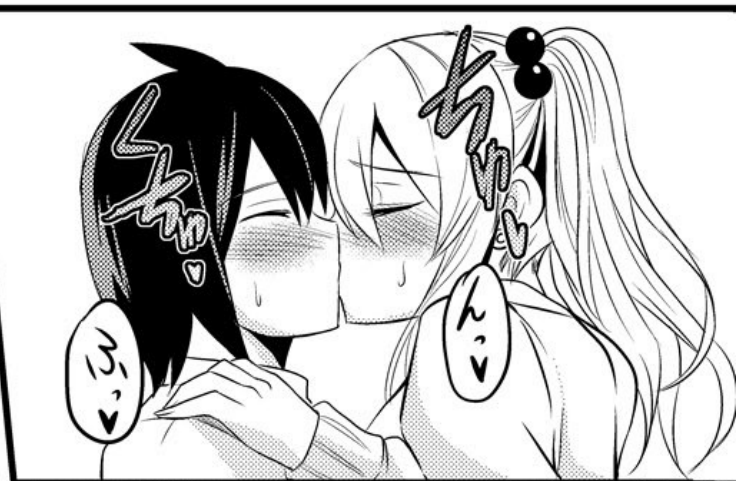
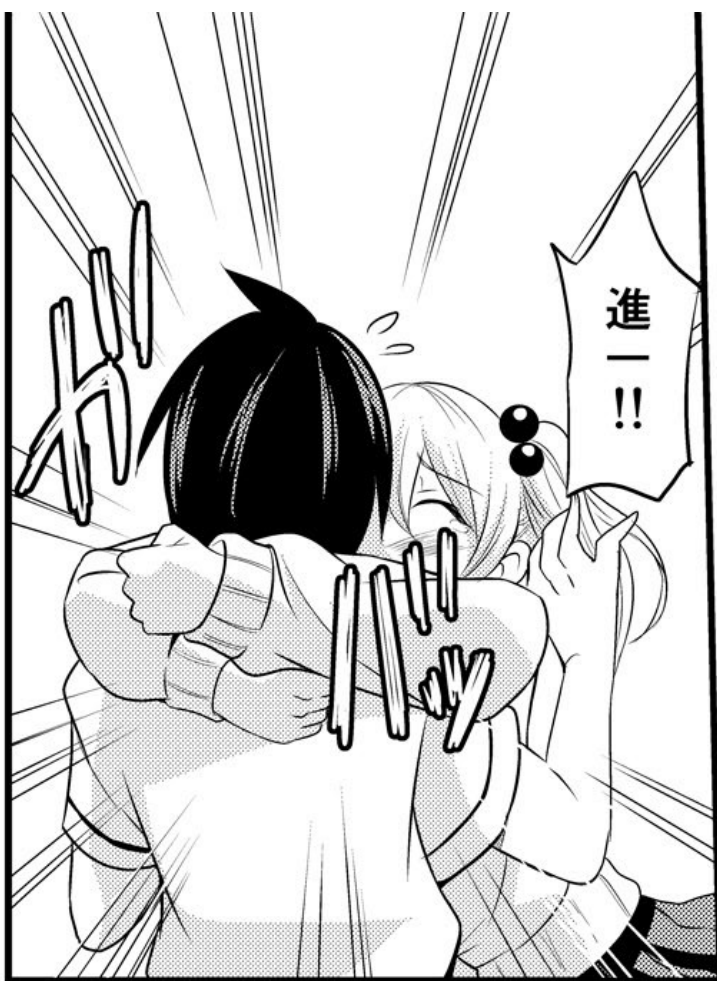








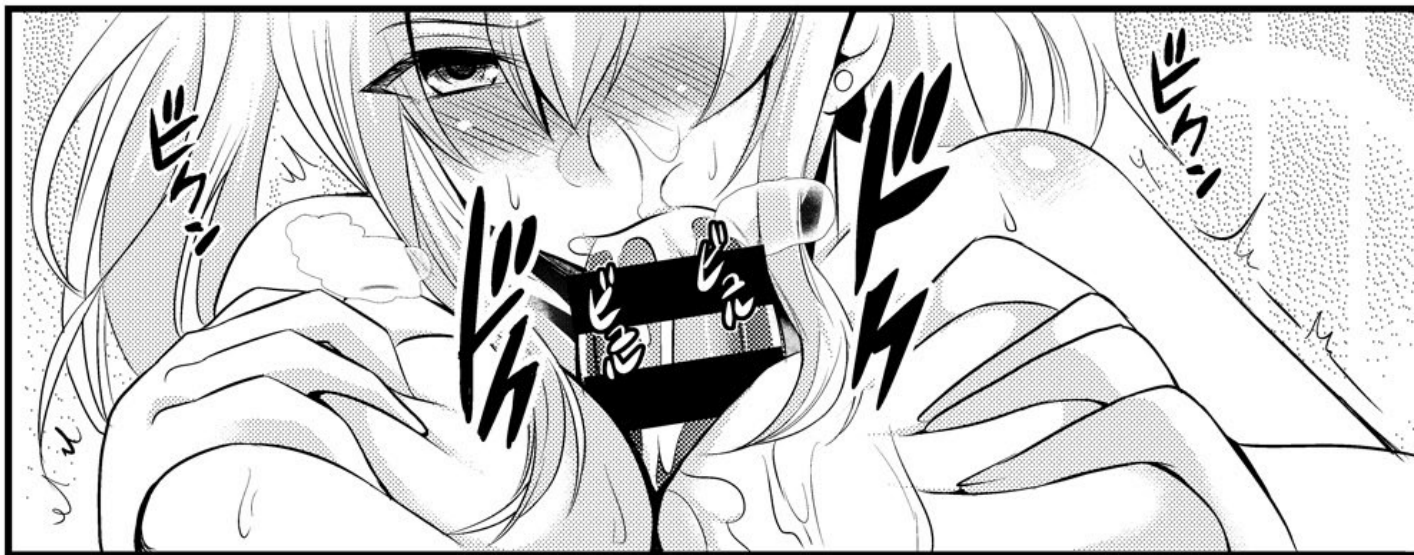




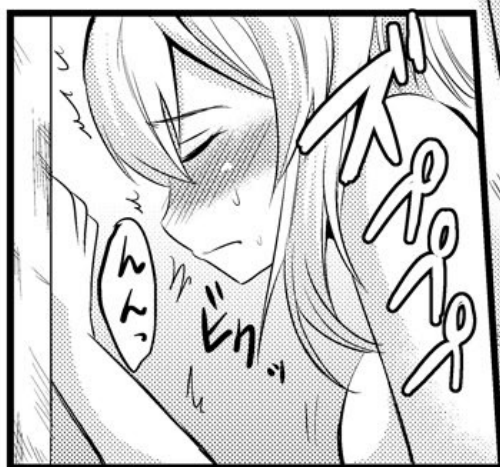


天城さんの胸
すごく気持ちいい
すぐ出ちゃうよ

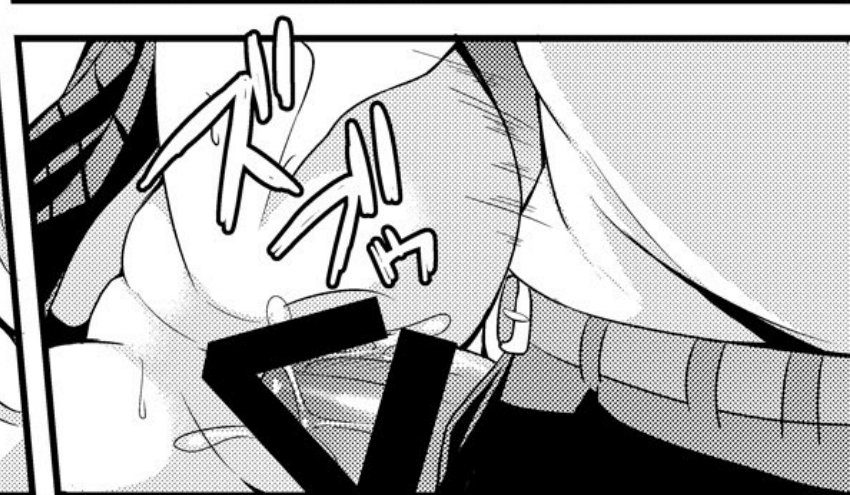


















タイトル：キミのまえだけ
ビッチなアタシ

著者：仁志田メガネ

発行：一彩出版